

# 福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2  
都立・第五福竜丸展示館内  
電話 (521) 8494

## ・百万人参観者運動を

'82年2月来館者数	6,360名
通算1カ月平均来館者数	3,951名
当月1日平均来館者数	265名
<b>通算来館者数</b>	<b>268,666名</b>

## ビキニ事件記念集会の教訓と 独自活動の提唱

### ビキニ事件記念の背景

昨年来の核廃絶をめざす国民のいらだたしいまでの願望は、ことしに入ってから、作家、写真家の声明と集会、音楽家の声明と代表の静岡での全国集会への参加、婦人・青年・法律家をはじめさまざまな階層の人びとの動きとなり、高揚が顕著に現われはじめています。

現に、三千万国民署名は、いまだ青協・地婦連・生協・被団協はじめ諸団体の独自の取りくみとなり、思いがけない人びとの参加で大きな成果をあげています。



### 主張

ビキニデーの諸運動  
こうした世論のたかまりの中で、今年のビキニデーのたたかいは、二月二十

七日の静岡における全国集会、それに先立つ焼津・弘徳院の墓前の集会、その後の地元はじめ諸団体の行動など、大きな成果をおさめています。

諸般の事情により、三月二日東京で開催された平和協会主催の記念集会も、別項詳報のとおり大きな盛りあがりを見せましたが、この集会を前にしてNHK・テレビ東京・NTV・朝日

毎日新聞・共同通信・赤旗などがとくにビキニ事件やそのきっかけとなった第五福竜丸にかんする報道を流していたことは注目すべきです。

運動は自発的で独創的にとくに福竜丸展示館では二月二十八日の日曜日には一日で九百名をこえる来館者があり、寄付金も一万円を越えました。統計の示すとおり、展示館を訪ねる人びとは決して特定の年

齢層や職業に偏らず、実に多彩で、しかも自発的に自分の意思で来る人びとがほとんどです。また、来館者の動向は、引きつづいて前年同期よりもはるかに多く、すでに通算二十七万人をこえています。

六月にむけての運動  
すでに三月二日の集会で採択されたアピールのとおり、六月に迫る第二回国連軍縮特別総会にむけての諸団体の行動に、国際的国内的を問わず積極的に参加するとともに、平和協会の独自の活動をも大いに強化すべきです。

それは、三千万国民署名の達成や国連への代表派遣のほか、独自の諸集会による核問題——くに太平洋非核化問題などへの追求をすすめるとともに、ソ連にたいする独自の陳情・請願のための代表派遣などにも努力すべきです。到達点はひとつでも、そこにいたる道すじはいろいろあります。そこに第五福竜丸平和協会のすすむ道もあるはずで

## 展示館がんばる 日誌から

### 3・1はさんで取材攻勢

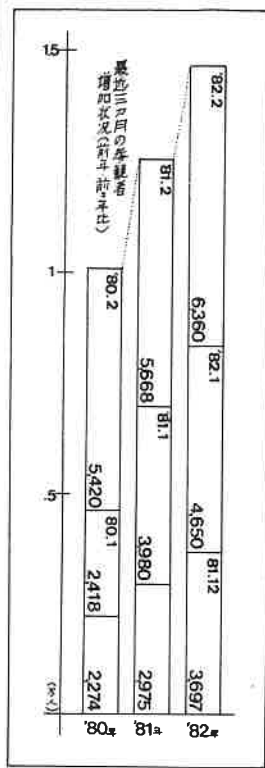
・三・一に展示館がヒマではそれこそ太陽が西から昇る事態。「やっぱり三・一ネ」と高まる反核のうねりの中、あいつぐ取材攻勢、見学者の増加にうれしい悲鳴の状況でした。その一端を日誌からひろってみると――。

2・18 ソ連のノーボスチ通信の支局長が昨年のプラウダにつづいて来館、熱心に取材。

2・19 小学校の見学で館内はちきれんばかり。原爆はイヤダと地元辰己小学校の六年生、列を作って三千万署名につきつぎと署名。すばらしい。

2・20 故武藤宏一氏の夫人

ラにおさめ、翌日大きく報道。



2・26 三・一全国集会参加の大阪原水協の代表バス一台で早朝八時より来館。暖房もまだかかぬ寒い中一時間余見学。すぐに横田・東富士へ。フランスのTFIテレビも取材。

2・27 写真展はじまり、一日中電話のなりつぱなし。毎日新聞は「核の恐怖まざまざ」と展示中の島田興生氏の写真を掲載し写真展を紹介(前々日取材)。朝、NHKテレビ取材、昼のニユースで報道。赤旗の記者再度来館、翌日のコラムで写真展を紹介。

3・1 NHKなどの要望で月旺休館日の午後だけ特別開館。都教組の代表子どもたちとともに見学。あいついでテレビ東京、NHKテレビ取材。広田館長インタビューに大わらわ。山本NHKキャスター船内をよじのぼってカメラどおり。ともに五時半、六時〇分から放映。

3・2 婦人の友社の取材。記念集会の問い合せしきり。写真家・島田興生氏来館。自らの写真展示にふむむと感慨深

## 下町大空襲展開く 第五福竜丸の写真も

平和の希いは、現在に生きる私たちの心——と東京大空襲37年の三月十日、江東区役所前広場で鎮魂と平和を念願する母子像・希(ねがい)の建立がおこなわれ、この碑の建立を記念して三月九日から一週間、江東総合市民センターで三・一〇下町大空襲展がひらかれ、平和協会も全面的に協力、多くの下町大空襲のパネルとともに、現在につながる展示会をとの願いから広島・長崎・第五福竜丸のパネルも展示されました。

# ビキニ被災28年・いま福竜丸の叫び大きく

## 盛大に、協会主催でビキニ事件記念集会

白波をたてて進む第五福竜丸と、被爆国民の声を政府へ国連へ、第五福竜丸の心をこめて”のスローガンが被爆写真で囲まれた舞台を飾り、三月二日、平和協会主催のビキニ事件記念集会がひらかれました。会場の東



京駅前国会会館には冷たい雨の中、青年・学生を主体に二百人余の人々が集い、九時すぎまで報告に耳を傾け、草の根の運動の強化を誓いあいました。集会では、三宅泰雄平和協会会長の主催者報告、広田重道展示館館長のあいさつをはじめ、行宗一日本被団協顧問の来賓あいさつ、草の実会、婦団連、原水協などのメッセージが紹介され、ビキニ水爆実験被災28年のいま、核兵器による人類滅亡の危機が叫ばれ、平和協会の任務の重大さを鮮明にしました。太平洋非核化と三・一ビキニ事件”と題するテーマで一時間の記念講演を行なった物理学者の服部学氏は、太平洋をめぐるアメリカの核戦略の構図を平易に話され、ミクロネシアはじめ太平洋諸国の運動と強く連帯し

非核太平洋の課題を大きくかかげて運動を盛りあげていくことの大切さを強調。来日中のフィリピン非核連合の事務局長レオナルド・パハムタン神父もかけつけ連帯を訴えました。また、多彩なメンバーで三・一〇下町大空襲展を推進している詩人・永井和子さんの報告に、みんなで協力を誓い、三月一日

ビキニデーの日、長崎を出発、広島・東京・国連にむかう平和リレーへの募金と連帯が訴えられました。平和協会からもリレー出発にあたって長文の激励電をうって壮途を祝しました。東京都が一九七五年に作成した記録映画「第五福竜丸・焼津―東京」に写し出される乗組員の声、市民の願い、保存運動の進展にあらためて運動の原点をしのび、いま地をはふようにするすめられている三千万国民署名へのいっそうの努力を訴えるアピール(別項)を全員の拍手の中で採択しました。

いま、ビキニ環礁水爆実験被災二八周年を迎え、アメリカをはじめ超大国間にとりまわらない核軍拡競争と狂気の戦争準備を目の前にして、ビキニ事件記念集会に参加した私たちは、核兵器廃絶への誓いを新たに、当面つぎのことを決意し内外に訴えます。一、来る第二回国連軍縮特別総会にむけて、各界の推進する核兵器の完全禁止と軍縮を要求する国民署名の達成のために全力をつくします。

一、第二回国連軍縮特別総会への代表派遣をはじめ、国際的、国内的な諸行動に協力、参加します。一、第五福竜丸展示館への団体見学その他展示館の積極的活用めざして力をつくします。一、原水爆資料室(仮称)の開設めざしてさらに努力します。一、原水爆禁止一九八二年世界大会の成功万々。一九八二年三月二日、東京にてビキニ環礁水爆実験被災二八周年、ビキニ事件記念集会

## 28年目のマーシャルの姿克明に

### 展示館でビキニ事件記念写真展

「ひざががくがくし、上陸して十分間だけ写真とってすぐ船にとびのった」とカメラマンの島田興生さんが写真を前に語るエニウエトク環礁ルニット島の巨大なコンクリートの塚。生い繁る雑草の前にたてられた危

険立入禁止の立札。こんな写真を中心に、展示館で二月二十七日から三・一をはさんで一週間「ビキニ環礁水爆実験28周年、ビキニ事件記念写真展」がひらかれました。注目の写真は、核実験でできたクレターに汚染された島の土や観測施設をコンクリートで混ぜ合せうめ、放射線を防ぐため40センチのコンクリートで埋め立てた直径二〇〇メートル、高さ20メートルの、原爆のゴミ捨て場。思わず見る人の目がくぎづけになります。

今回の記念写真展は、田村茂さん、森下一徹さん、共同通信社はじめ各新聞社のビキニ事件、第五福竜丸にかんする写真のほか、昨年半年にわたってマーシャル諸島を取材した島田さんの初公開の写真など二〇点余を展示し、被災28年・マーシャル



子どもたちも大きな目でビキニを見る

の傷痕”の特別展示となりました。アメリカが発表した被爆地帯の外側、ビキニの南二〇〇キロのウオト環礁にある三つ又の奇形ヤシの写真、健康の不安を訴えるロンゲラップの人びとの生活など、期間中來館した四千三百名余の人々にそれらの写真は強烈な印象を与えました。

## 反核の大きなうねりの中で

### 静岡で三・一ビキニデー全国集会

ガ、ガ、ガー：マイクを通じて会場いっぱいガイガーカウンターの音がひろがりました。「ストロンチウム90の半減期は28年、ビキニの死の灰はいまも放射線をだしつつづけています」と安斉育郎さん。二月十七日、静岡市民文化会館でひ

らためてビキニ事件の深刻さを考えさせました。全国集会は昨年にひきつづき中央の原水爆禁止世界大会準備委員会と地元静岡の実行委員会の共催でひらかれ、二千人近い代表が参加、文学者、音楽家などのSSDII向けの反核のうねりの中、かつてない幅広い各階・各層の人びとが集い、大きく盛り上がり、核軍拡競争を食い止め逆転させようとのアピールを採択しました。

らかれた三・一ビキニデー全国集会のことです。第五福竜丸展示館から会場に持ち込まれた死の灰とガイガーカウンターが集

# 核世界の先端

## マーシャル諸島

< 1 >

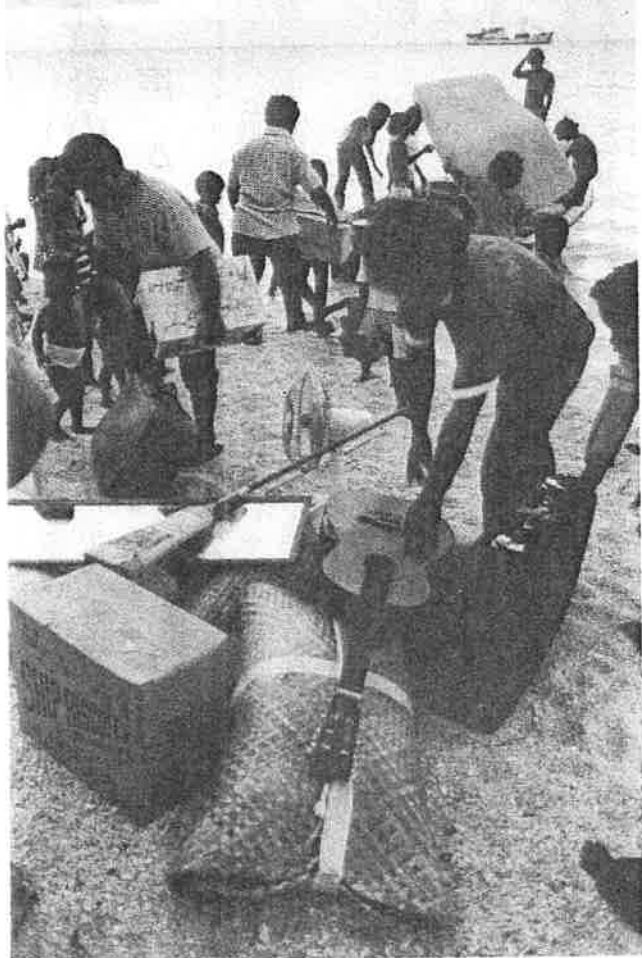
### 死の灰

ないようです。ビキニは、日本人の三度目の被ばく体験だけでなく人類にとってみな殺し兵器の開発実験、原子力エネルギーの原点でもあるわけです。ビキニ事件から二八年後の今日でも、ビキニと周辺のマーシャル諸島では、放射能汚染が続き、核世界の先端を行く多くの問題が起っています。七四年以降、マーシャル諸島をフィールドワークしてきた島田カメラマンが現地からの視点で報告します。(文・写真・島田興生)

五四年三月一日のビキニ実験で膨大な死の灰が周辺諸島と海域にばら散られた。死の灰は実

験場の珊瑚礁の破片が放射能を帯びたものだが、死の灰の降下したロンゲラップの住民は、そ

れが何であるか理解できなくて、空から降って来た死の灰をコーヒと一緒に飲んだり、体にこ



巡航船 被ばくから28年たったロンゲラップ島の海岸。2カ月ぶりに巡航船が来て、食料や人が運ばれてきた。島に帰った人は、ナベやギターだけでなく、マットレスから扇風機まで運んでくる。

すりつけたたりした。

マーシャル人にとっては前代未聞の体験だったからだろうか。

私は当初マーシャル人の科学的知識の不足を理解の根拠としていた。しかし、核実験場跡を何度も歩くうちに分ったことは放射能は結局人間の五感では感知し得ない存在だ、と言うことであった。

実験場跡を歩いたあと、着けていた衣服や靴を海水で神経質なくらい洗った。体に異常はないが、時々フツと不安になる。しかし、ヤシの繁る珊瑚礁の島や、澄み切った海や空を見て、少し安心する。その繰り返し。

より先行した核社会に在るアメリカでのスリーマイルズ事故の周辺住民の対応ぶり、しょつちゅう事故を起している日本の原発周辺の住民の暮しぶりを見て、マーシャル人を笑っていら

れるだろうか。

次回から、このごく当り前の感性を原点にしてマーシャル諸島住民の核との関り合いをお伝えしようと思う。

### 編集後記

▼ことしの三月一日前後は展示館への来館者が連日の盛況で、二月二六日が六三三名、二八日が九三七名、(三月一日休館)三月二日が九六一名という状況で、係員はくたくたでした。

▼国内的に国際的に核兵器廃絶の波がもり上るなかで、ことしはビキニ事件への真剣な見直し、こうした現象の大きな要因だと言う人もあります。

▼事実、ビキニ事件の結果、翌一九五五年七月に、有名なラッセル・アインシュタイン声明が出されたのですが、そこには水爆の出現によって、人類の生存が核兵器かの二者択一がひしひしと感ぜられていきます。

▼そうしたビキニ事件の歴史的な重みの解明は、眼前に横たわる米ソの核兵器開発競争を何とかして止めさせたいという国民の動きに、大きな拍車をかけるものだと思います。

春近し窓辺に浮ぶ海の色(且)

### 来館者の声から



今度のもっと勉強して、沢山の人がつれて来たいと思う。又来ます。 千葉彩織

水ばくのこわさがわかった。これからもこのふねをたいせつにしたい。 \*

初めてここへ来ました。主人も船にたずさわる仕事をしています。乗組員方々のご健康とこれからもこのような悲惨な事が起こらないよう祈ります。 川崎一之

原爆はとてつもないやです。それにビキニの人たちが気のどくだと思えます。アメリカはそんなにしてまでも強くなりたいのかと思うとアメリカっていやな心をもってることがわかりました。世界の人々が久保山愛吉さ

んみたいなやさしい心の人に生まれればいいなと思いました。 小四 青山直子

現在の日本では又兵器産業を復活しよう等の声が財界の一部からあがっている。第五福竜丸の残がい・展示物を見てやはり戦争は悲惨でありどんなことがあっても核兵器は二度と使用されてはならないとの思いを新たにしました。 板井慎一郎

人間の行為はなぜこうも残酷なのでありましょう。戦後世代の私にとり知らない事実の多さに驚かされています。というのもヒロシマへの修学旅行の取り組みが私自身の内面変化をもたらしたからです。とかく、倫理上の問題として戦争の悲惨さはわかるつもりでおりましたが他者にそれを伝える場面に出会うとその観念的な把握の仕方にも足りなさを感ずることが多くありました。自らも学習するとい

うことは自らの行動のなかで実感され自分の力となることで

よう。本日ここに来たことも一九五四年生まれの私にとり三一のビキニデーについて学級通信を書くという自己目的化という枠の中のささやかな行動なのです。私の内部を私の他者へわかる事実を通して伝えたいと思います。 平間玲子

原爆は本当におそろしいと実感させられた。もう二度と原爆で死ぬ人など出さないためにも今生きている私たちがしっかりしなければ。 河内優子

科学はもっと人間の幸せのために役立たせることができるはずだと思ふの。 竹田優子

二度目の訪問です。ビキニデーを一日前にして北区の地域で平和について少しづつ考えあっている仲間と一緒に来ました。東京に保存されるまでには多くの人々の思いと行動があったことを知りました。ここに、運動の結果が残されていることがとてもよかったですと思います。

二度目の訪問です。ビキニデーを一日前にして北区の地域で平和について少しづつ考えあっている仲間と一緒に来ました。東京に保存されるまでには多くの人々の思いと行動があったことを知りました。ここに、運動の結果が残されていることがとてもよかったですと思います。